



第105期(2019年3月期)
決算説明資料

新5カ年計画の中間状況

代表取締役社長 吉貴 寛良

2019年5月15日
フタバ産業株式会社
(#7241)



1. 新5カ年計画の振り返り
2. 取り巻く環境
3. 課題への取組み
4. まとめ

1. 新5カ年計画の振り返り

3

新5ヶ年計画の概要

2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
体制整備	計画の確実な実施	計画の確実な実施	計画達成の 目途付け	計画達成

「よい品、より安く」を基本とした
新たな成長ステージ

基本姿勢

将来にわたり、成長性が期待できる分野へのリソースの重点投入と、収益性が期待できない分野の見直しを通じて、会社としての継続的成長を目指す

基本方針

- 「安全、品質、ものづくり」の基本の徹底
- 安定した収益確保のための構造改革と原価マネジメントの強化
- 拠点最適化と経営資源の効率的な配分
- コア技術の更なる進化と新規分野への活用
- 人材育成と組織力の強化

目指す姿

「挑戦する人
の集団」

「モノづくりで
社会に貢献」

「新しい価値を
世界へ提供」

1. 新5カ年計画の振返り

4

新5カ年計画 方針の具体的取組み（2016-2018年度）

分類	方針	2016年度	2017年度	2018年度
効率化・ 管理面 強化	主力商品の競争力向上	ボデー系SE力の向上		
		車種別の収益管理の強化		
	マネジメント改革	第三者割当増資 (トヨタ自動車)	事業別収益管理の導入・強化	
		FUTABA WAY策定	TQMの導入・推進	
		決算早期化開始	内部統制の強化	
		予算管理強化		
		経営意思決定プロセス改革 (疑似事業部制・会議体・決裁方法)		
			全社重点実施事項 絞り込み	

1. 新5カ年計画の振返り

5

新5カ年計画 方針の具体的取組み（2016-2018年度）

分類	方針	地域	2016年度	2017年度	2018年度
効率化・ 管理面 強化	生産拠点 最適化	日本	九州拠点最適化 (フタバ九州の本社移転)	生産ラインの再編PJT発足	生産ラインの再編開始
		北米			統括会社(FNA)機能強化
		中国	天津双協スリム化	重慶福達巴売却	東莞双葉スリム化
				情報環境ビジネスの再編、効率化	
		欧州			欧州統括機能の設置
					英国子会社2社を統合

1. 新5カ年計画の振り返り

6

新5カ年計画 方針の具体的取組み（2016-2018年度）

分類	方針	2016年度	2017年度	2018年度
先行投資	主力商品の競争力向上	排気系システム性能予測技術の確立（排気音最適化計算ソフトの導入など）		
		北米排気管量産化	新構造マフラー量産化	ボデー系開発体制強化
				先行開発部門設立
	マネジメント改革			シミュレーション解析人員増強
				現場管理業務のIT化
				従業員の処遇面の競争力強化
			CO ₂ 削減対応体制整備	
	新技術・新事業への取組み強化	農業分野の事業化	車体軽量化 安全性能向上 ①冷間超ハイテン ②ホットスタンプ部品の量産拡大 [幸田工場、FIO（カナダ）]	
	生産拠点最適化			インド新会社稼働

2016～2018年度は効率化および管理面強化の取組みが中心

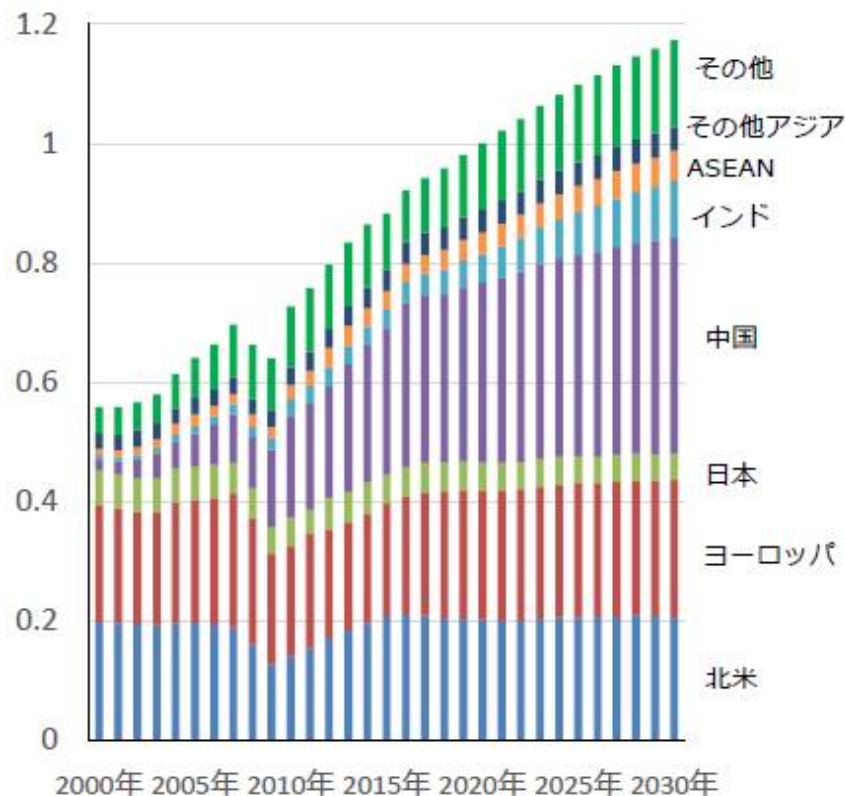
2. 取り巻く環境

7

世界の自動車販売予測

国・地域における自動車販売台数の推移予測

(億台)



出所：HIS Markit 及び 経産省作成資料より

世界の自動車販売実績(2017年)



出所：HIS 及び 経産省作成資料より

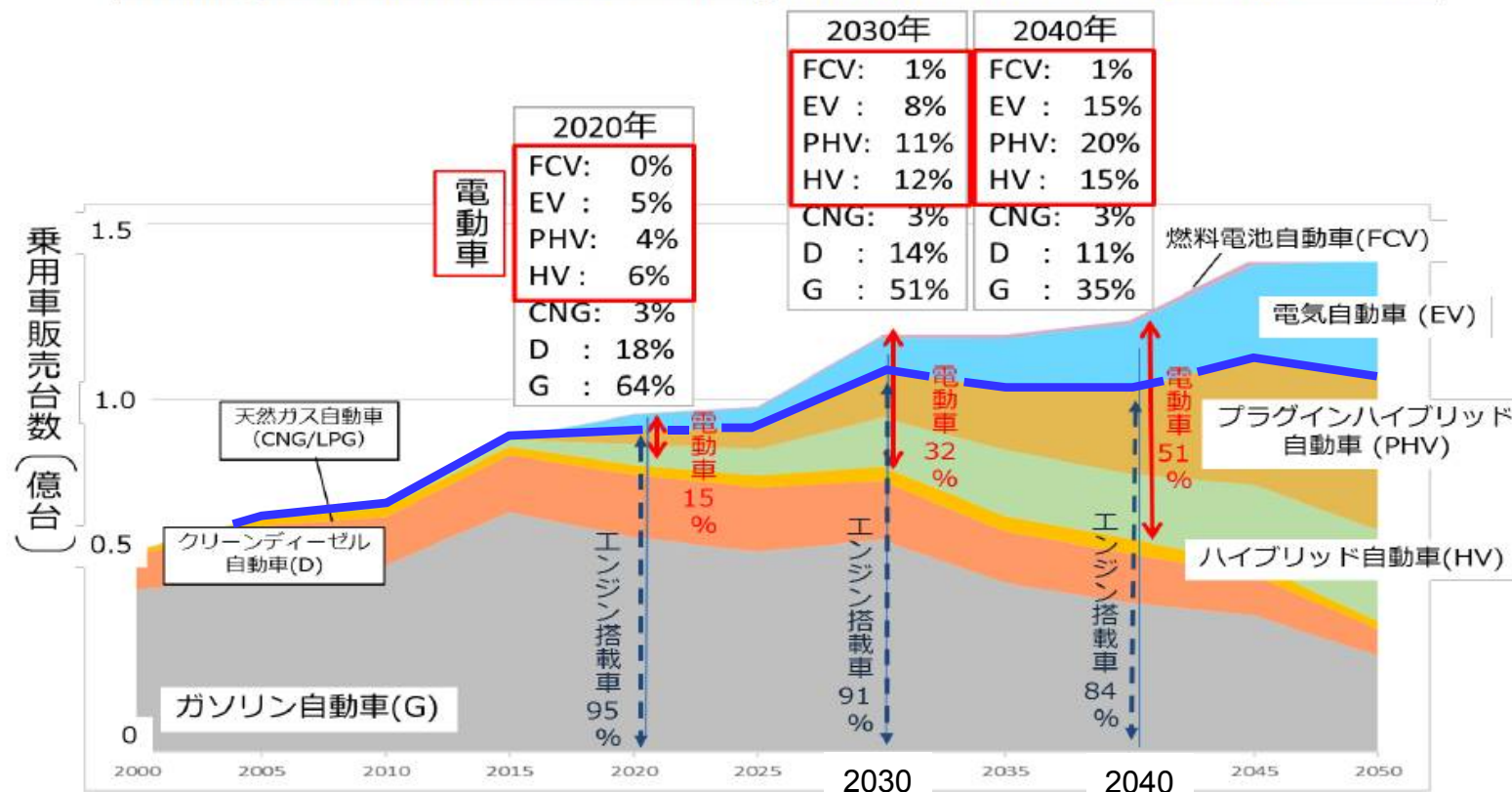
**グローバルでの自動車販売台数は堅調に伸びる予測
⇒成長の機会は海外市場**

2. 取り巻く環境

8

電動車の普及予測

IEAが示した技術普及シナリオ（平均気温上昇の▲2℃達成ケース）



出所：IEA ETP 2017 及び 経済産業省作成資料より

- ・電動車（HV、PHV、EV）が大きく増加
⇒ 2030年シェア：32% 2040年シェア：51%
- ・2030年までエンジン搭載車は増加、その後は横ばい：排気系部品需要も継続

2. 取り巻く環境

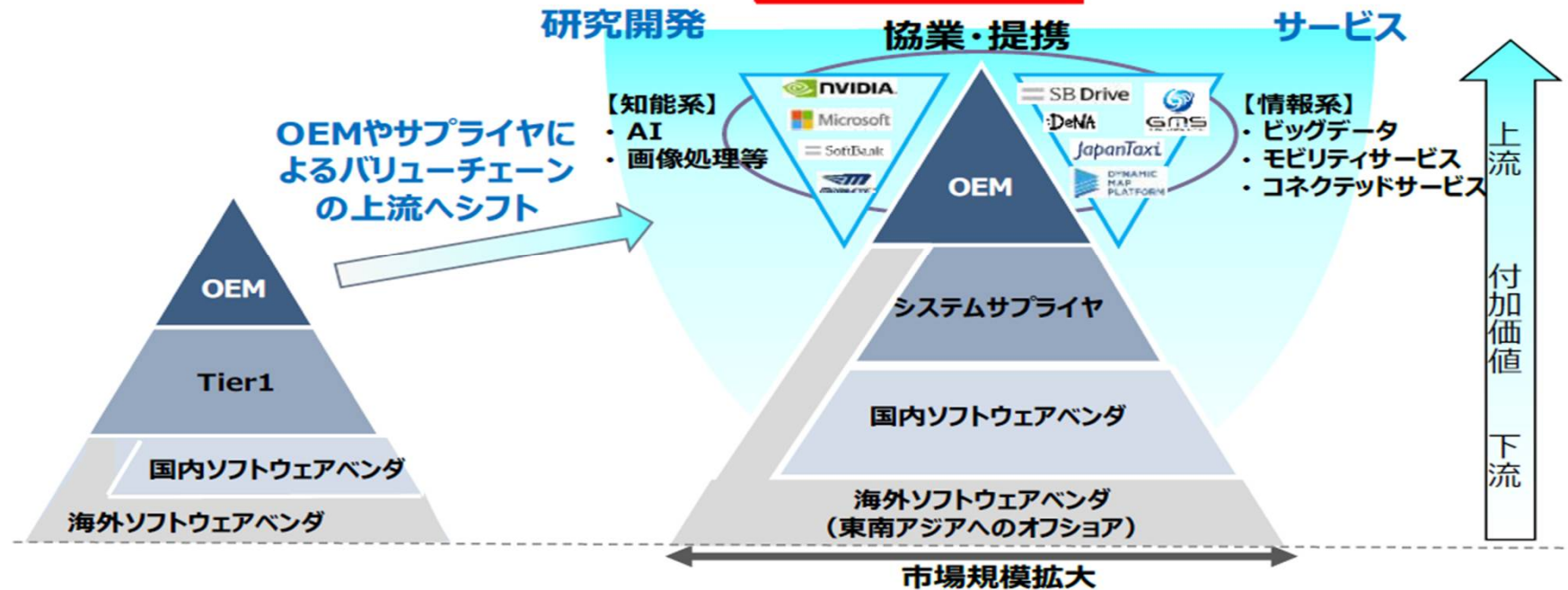
9

次世代技術（CASE）対応による自動車産業構造の変化

人材に関する課題

CASE対応に向けて数千～数万規模での人材不足が懸念

高度人材の強化



出所 経済産業省

平成 29 年度 高度な自動走行システムの社会実装に向けた 研究開発・実証事業
(自動走行に関する ソフトウェア人材の実態調査及び求める人物像の調査)

**バリューチェーンの上流側へのシフトが進行
⇒サプライヤのビジネス領域も高付加価値領域へ移行**

2. 取り巻く環境

10

取り巻く環境から見えてきた課題

更なる強化が必要な取組み

① グローバル経営体制の構築強化

ものづくり改革

マネジメント改革

② 電動化に対応した商品開発強化

電動車へ向けた開発強化

成長に向けた新たな取組み

③ 高付加価値領域のビジネスモデルへのシフト

ボデー商品の新たなビジネスモデル



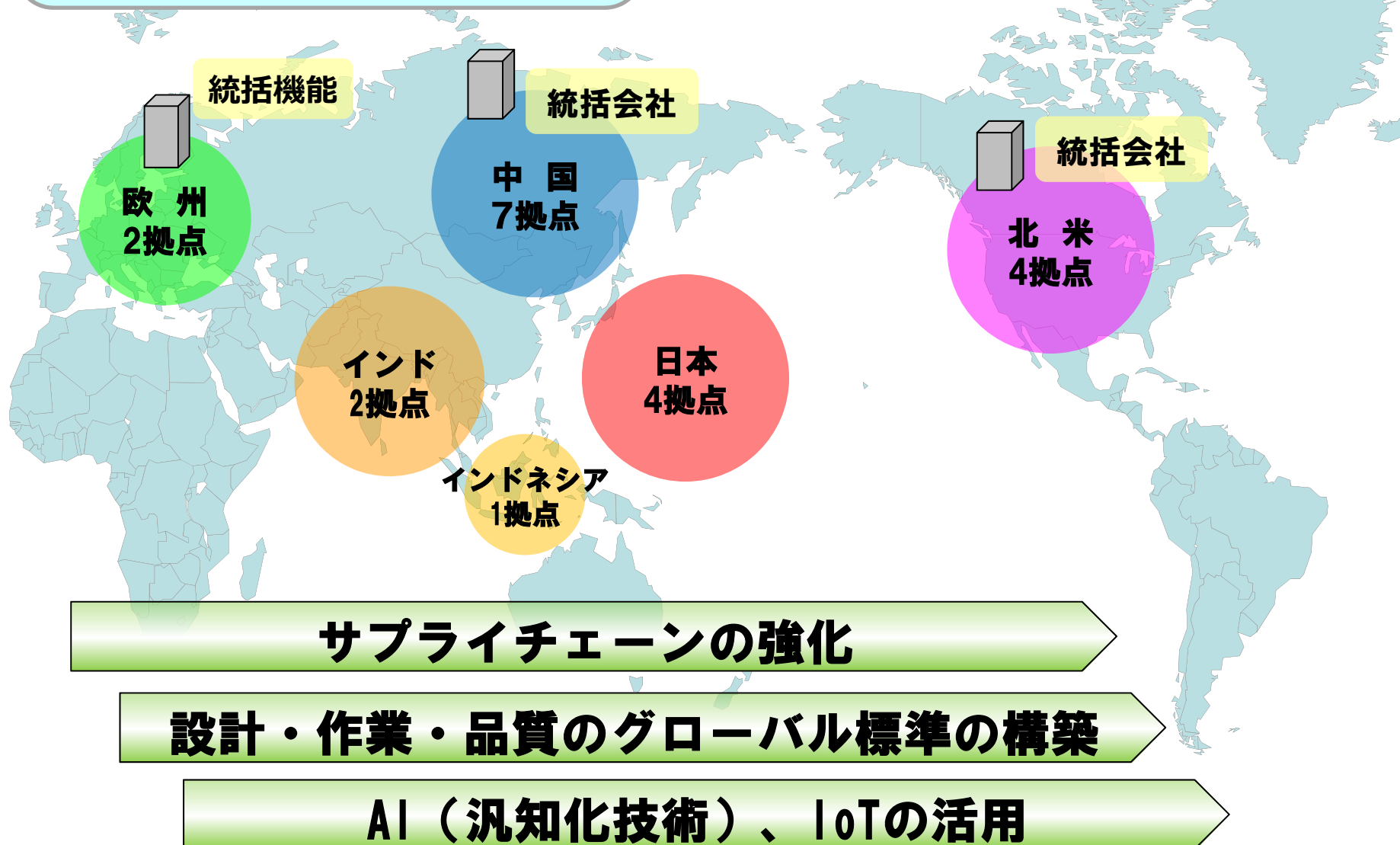
将来の成長に向けた新たな課題への取組み開始

3. 課題への取組み

11

ものづくり改革

グローバルで展開

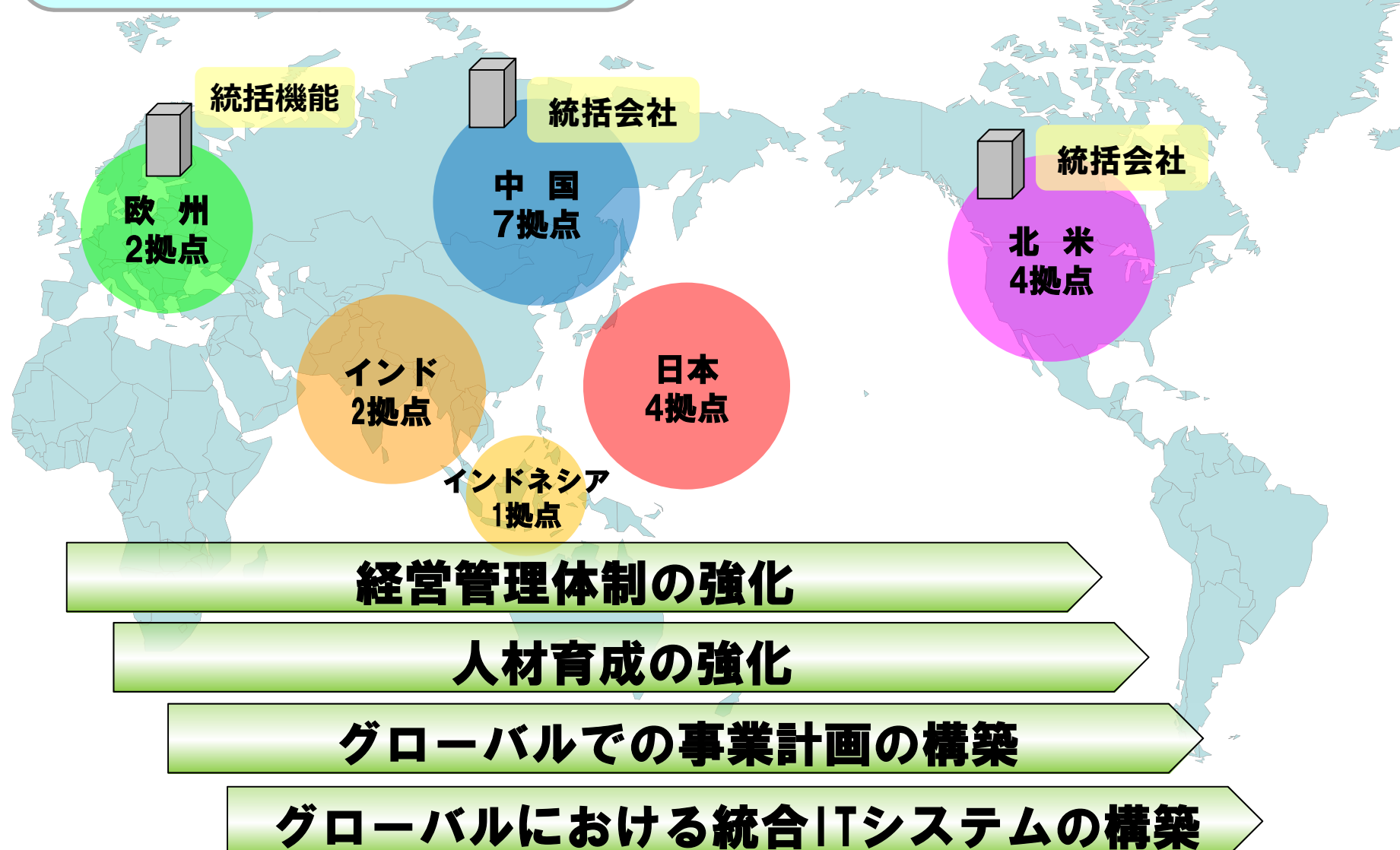


3. 課題への取組み

12

マネジメント改革

グローバルで展開



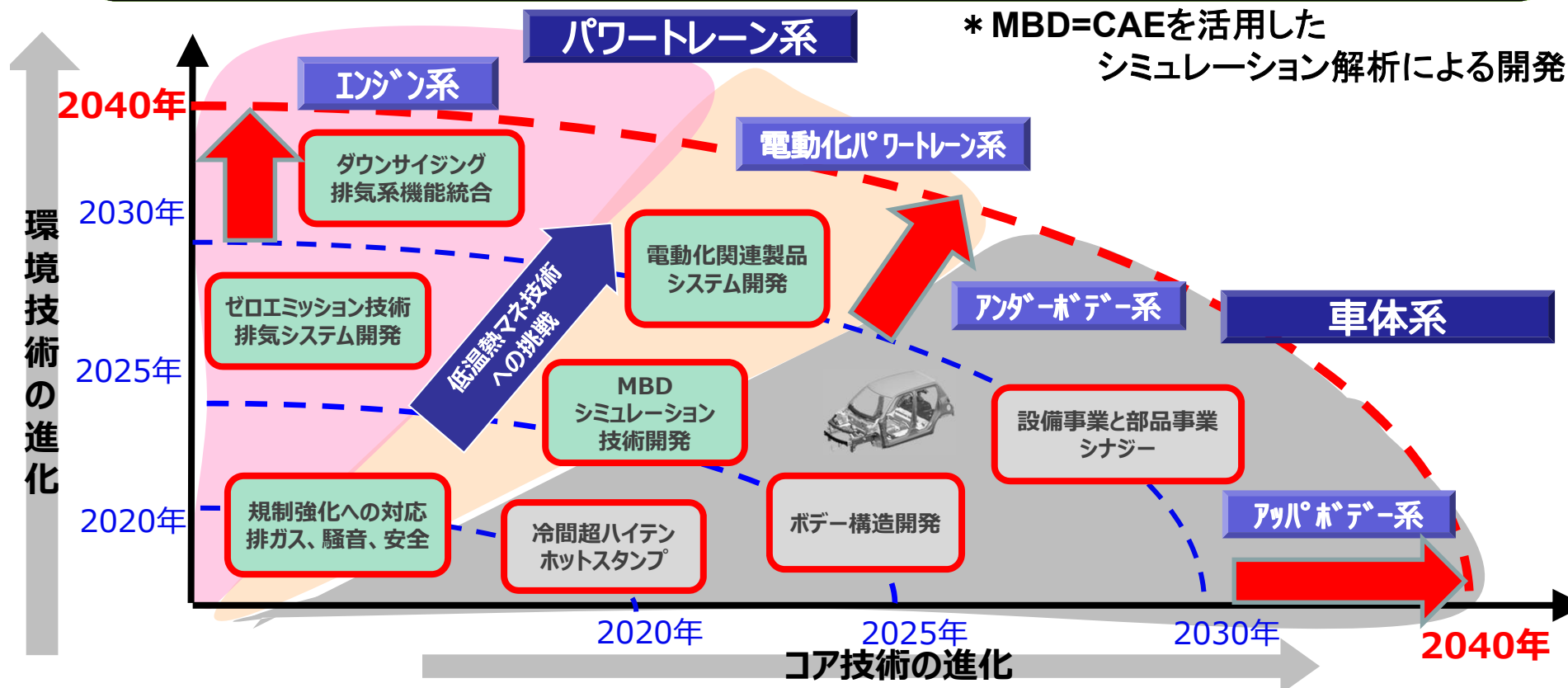
3. 課題への取組み

13

電動車へ向けた開発強化

2030年から2040年目線へ

1. ゼロエミッションエンジンに貢献する排気システム開発
2. コア技術を活かした電動化新商品の開発
3. 電動化商品の企画・開発組織とMBD(＊)、IT投資の強化



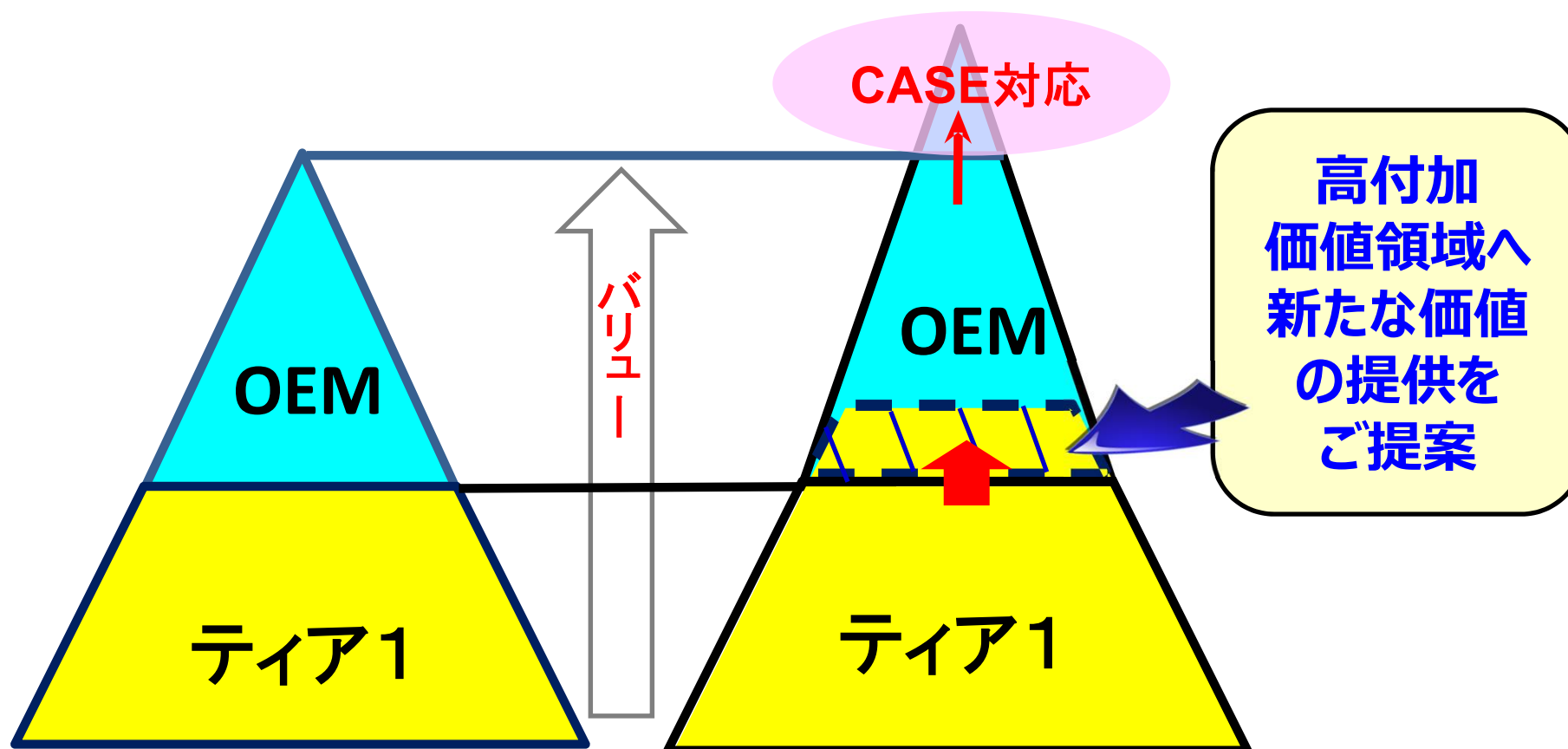
3. 課題への取組み

14

ボデー商品の新たなビジネスモデル

成長に向けた新たな取組み

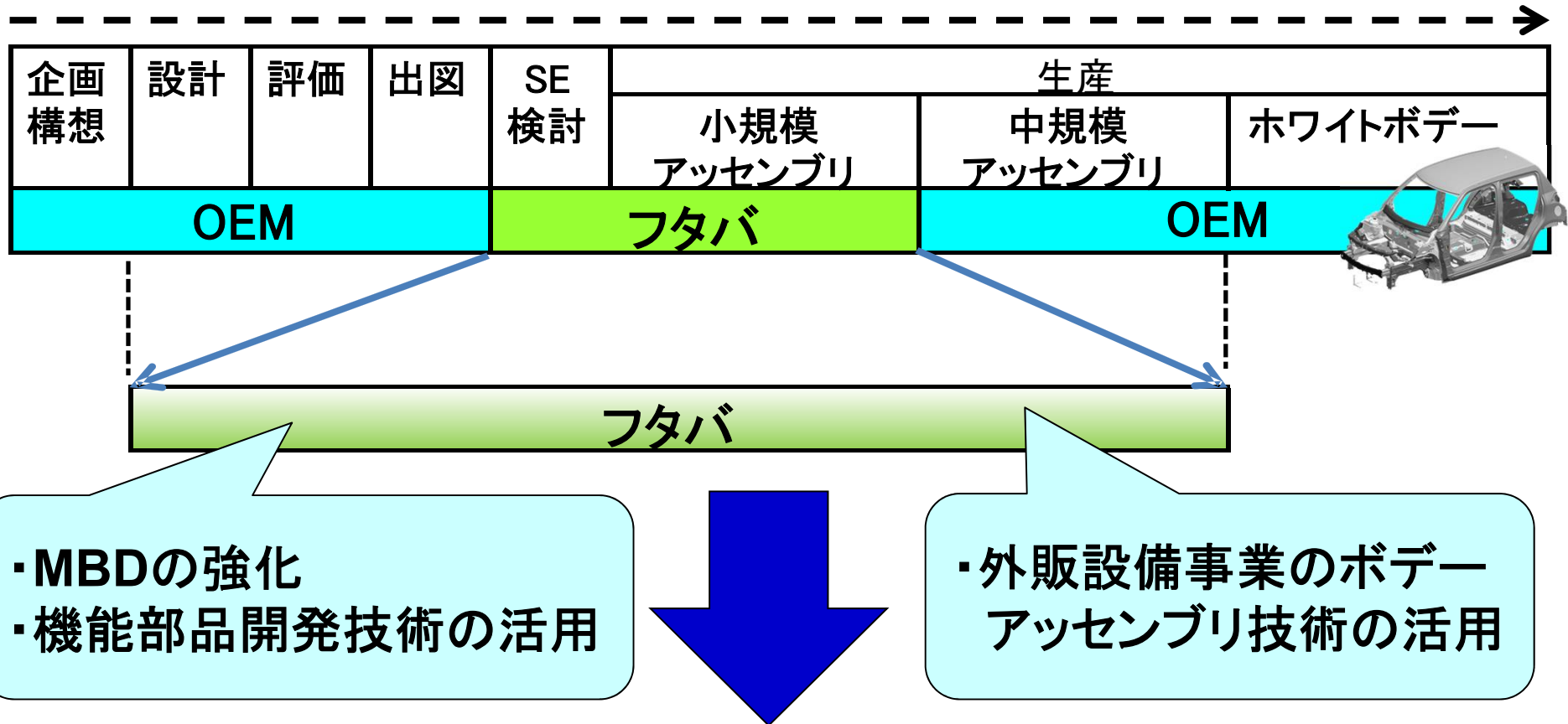
CASEによるバリューチェーンの変化は、新たなビジネスチャンス



3. 課題への取組み

15

固有の加工技術の活用と新たな構造開発への取組みにより
高付加価値領域（ハイアッセンブリ）へ挑戦



OEMのニーズに応えつつ、高付加価値領域へのビジネスに拡大

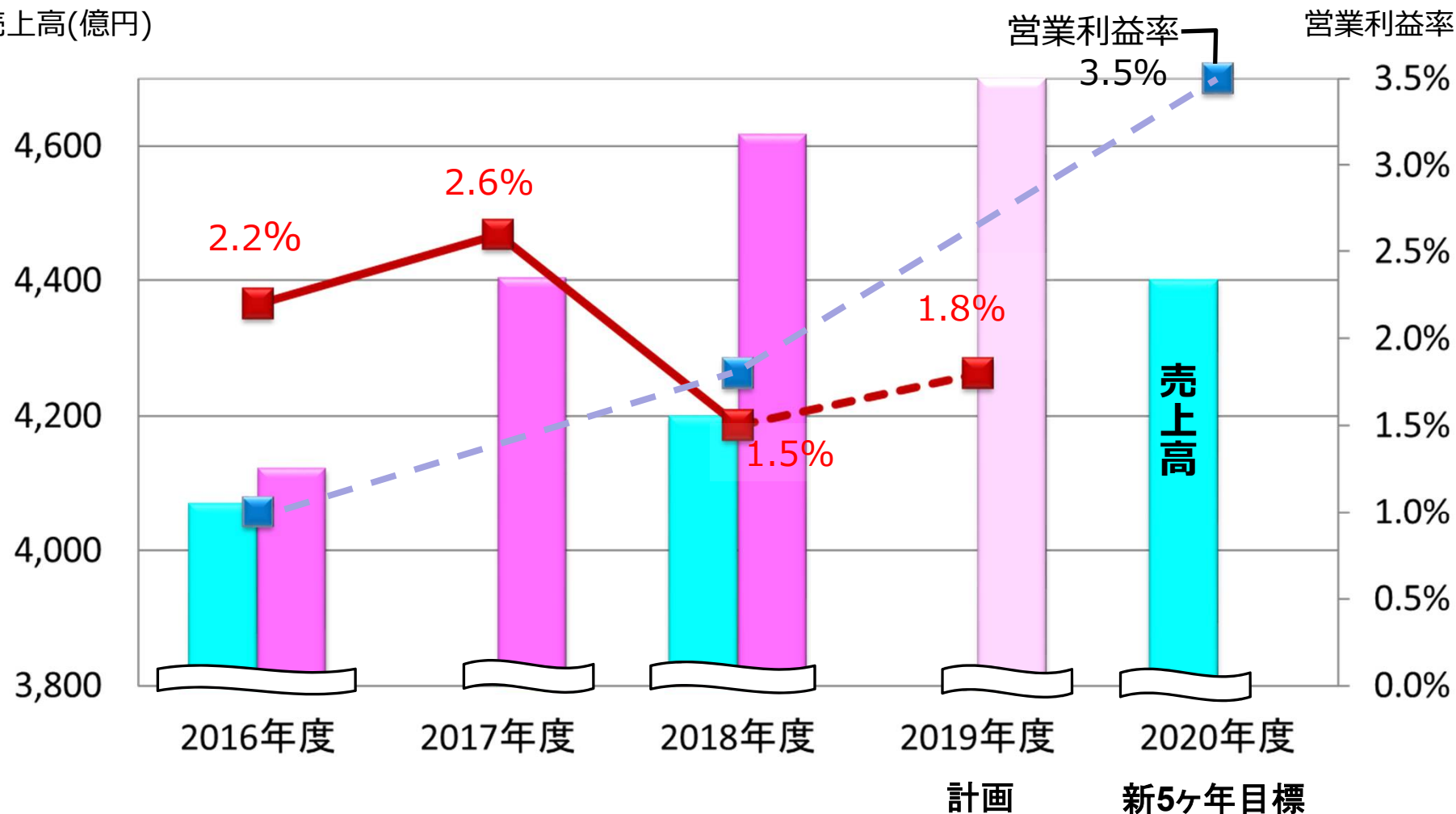
4. まとめ

16

売上高と営業利益率（連結）

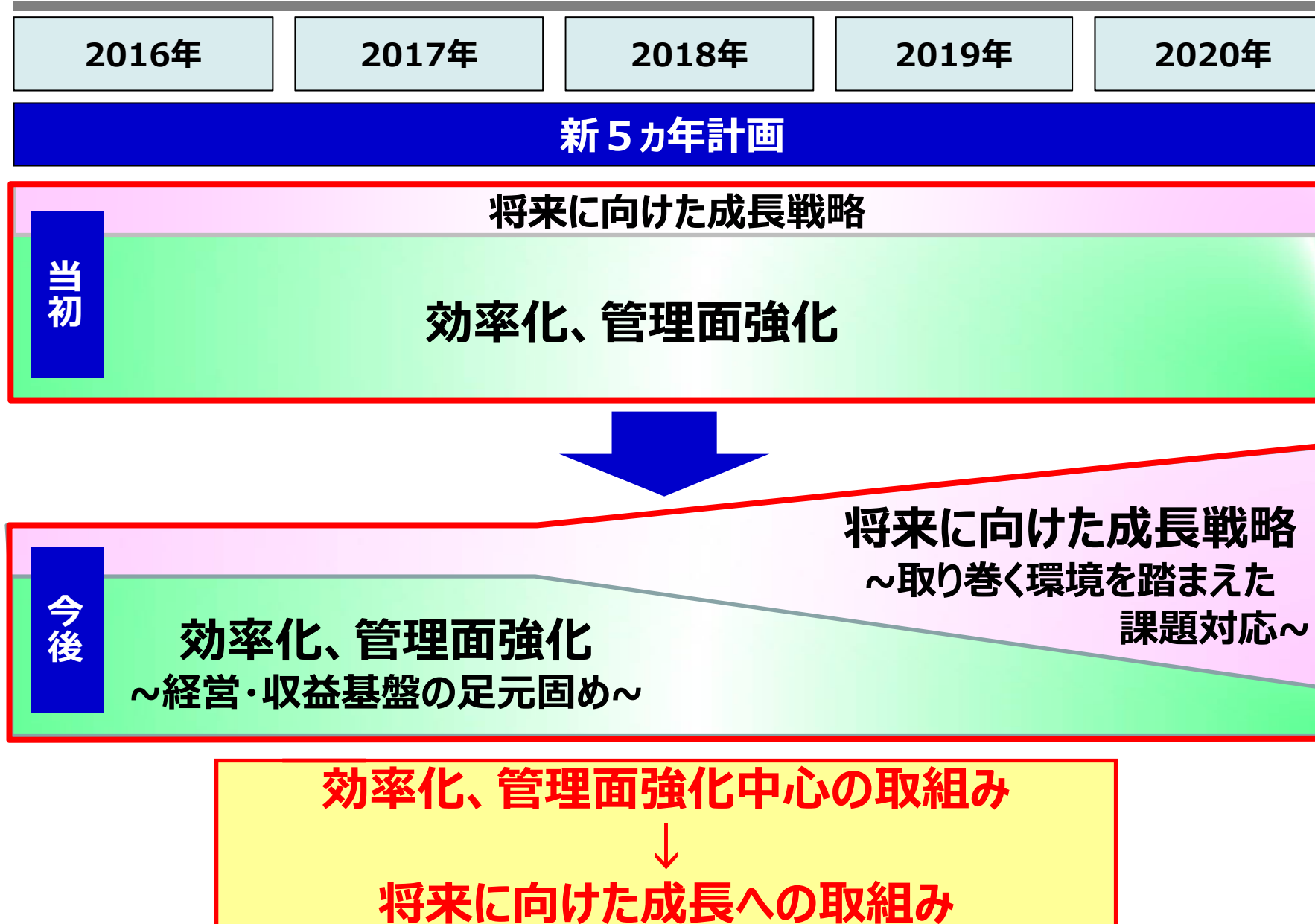
■ : 売上高(当初計画) ■ : 売上高(実績)
◆---◆ : 利益率(当初計画) ◆---◆ : 利益率(実績)

売上高(億円)



4. まとめ

17



本資料に記載されているフタバ産業(株)の計画、業績等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。それらの影響により実際の業績は、見通しと異なる結果となり得ることをご承知おきください。